

令和3年度予算要望書を提出

大田区議会公明党は、区民の皆様から各議員にお寄せいただくご要望や、調査・研究の中から拵んだ課題のうち、重点7項目を予算要望書(第一弾)として取りまとめ、10月5日、松原大田区長へ提出しました。



令和3年度 重点要望項目

- ① 虐待防止のため、庁内体制の機能強化と地域資源との連携体制を構築すること
- ② デジタル課を創設し、オンライン化を促進すること
- ③ 都との協議を更に進め、新空港線整備を強力に推進すること
- ④ 簡易キットによる駅近ワンコイン検診やがん検診を導入すること
- ⑤ 産後ドゥーラを導入し、産後ケアの充実を図ること
- ⑥ 区民ニーズに応えるホームページにリニューアルすること
- ⑦ コロナ禍で影響を受けた児童・生徒の思い出づくりに財政支援すること

今年のインフルエンザ予防接種に、助成を拡充。

今年も、インフルエンザが流行する時期に入ります。コロナとの同時流行の懸念も危惧される中、私たち公明党も推進したインフルエンザ予防接種の助成事業が10月よりスタートしました。対象者は、右記の通りとなります。是非とも、ご利用ください。

お問い合わせ先▶感染症対策課 ☎03-5744-1263

玉川英俊 議員

私がオススメする注目事業はこちら!



高齢者

65歳以上の高齢者
および60歳以上で障害のある方
※自己負担額が全額免除されます。
※対象の方には、個別に案内が送付されます。

小児

1歳~12歳まで、2回接種で、
各回2,000円の助成
13歳~15歳まで、1回接種で、2,000円の助成
※各医療機関に準備された申込書を記載して、差額分が自己負担額となります。



変わる、羽田。

最新スポット

羽田イノベーション・シティ OPEN



私が解説!

勝亦 聡 議員

羽田空港跡地に新たな施設が出来たと伺いました。どんな施設ですか?

羽田空港ターミナルから1駅の「天空橋」駅に直結する場所に、羽田イノベーションシティ(HI City)と呼ばれる新たな街が誕生しました。商業・オフィスなどからなる大規模複合施設です。9月18日に本格オープンし、「先端」と「文化」の2つを街のコンセプトにしています。グルメ・日本文化・ライブイベントなどが楽しめる施設や、研究開発施設やコンベンション施設なども整備されます。将来的には、世界をリードする国際産業拠点としての機能が期待され、大規模公園なども整備される予定です。

この施設が、最も期待されていることは何ですか?

先端産業の開発・研究拠点として、各分野のリーディング企業を誘致し、区内事業者との連携につなげていくことが求められています。自動運転技術

やロボティクス分野の開発が行われることがすでに決定しており、また企業同士の交流ゾーンも設けられ、新たなアイデアが大田区からカタチになっていくことが、期待されています。

特にオススメの場所がありますか?

ライブイベントを楽しめるゼップHaneda(3,000人収容可)は、今後、若者の拠点として注目されそうです。また羽田空港から飛び立つ飛行機を、足湯につかりながら間近で見ることが出来るシチュエーションは圧巻です。大田区の有名店も出店した飲食店街や、様々なイベントも企画されており、あの人気ドラマの撮影にも使われ、新たなスポットとして期待されています。



★ぜひホームページで、詳しい案内をご覧ください

コロナおよび風水害の危機から区民を守り、安心を広げる施策を強力に推進!

大田区議会 第3回定例会

9月10日から10月8日までの会期中、令和2年大田区議会 第3回定例会が開かれ、代表質問に 玉川英俊 議員、一般質問に 田島和雄 議員・勝亦 聡 議員が登壇。各委員会での議案審議、陳情審査、また令和2年度補正予算の議決および令和元年度の決算審査等が行われました。

「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の制定や、コロナ関連の感染対策費の整備、区独自の飲食店に対する感染拡大防止協力金の設置、給付型奨学金の大幅拡充、こども食堂推進事業など、公明党が力を入れてきた取り組みも前進しました。



代表質問、一般質問の内容については、ホームページでご覧いただけます。

代表質問



玉川英俊 議員

- ①令和元年度決算について ②今後の行財政運営について ③新空港線整備について
- ④公共施設整備について ⑤分散避難の啓発について
- ⑥避難所の情報伝達について ⑦オンライン授業等、学びの環境について

コロナ禍の区民生活を守る健全な財政運営について

コロナ対策はひるむことなく進めていくべきだが、自然災害という突発的な行政需要も考慮しなければならず、一定程度の財政力を保持する必要があると考える。その上で財政力を蓄えつつもコロナ禍の不安を安心に変えるための施策に、財政基金の積極的な活用を要望しました。



一般質問



田島和雄 議員

- ①感染症対策について ②防災・減災について
- ③公園の防犯対策について ④教育について

感染症対策としての学校の換気と業務継続について

感染症対策として窓を開けての換気などが必要であり、教育環境と避難所環境の両面の観点から、害虫の侵入を防ぐ網戸を設置するべき。また陽性者が出現して学校が臨時休業となる場合などに備え、学校ごとに感染症に関する業務継続計画(BCP)を策定するべきと訴えました。

一般質問



勝亦 聡 議員

- ①行政サービスのデジタル化について
- ②地域と連携したひとり親家庭などへの見守りについて ③コロナ感染症対策について

特別定額給付金(10万円)の対応について

本区では戸籍住民課が手続きを進めたが、特別定額給付金対策室を立ち上げ、対応した区もあったことを取り上げ、今後は様々な変化に対応するためにも、平時から最適な執行体制を準備すべきと訴えました。

弁護士による無料法律相談を行なっています

第1、第3木曜日の午後2時から大田区議会公明党控え室で行なっています。当日正午より予約受付(☎5744-1488)を行っております。★必ずご予約の上、お越し願います。

<http://www.komei-ota.jp>

大田区議会公明党 検索

大田区議会公明党の公式ホームページはスマートフォン、タブレットにも対応しています。



私たち大田区議会公明党の各担当地域で区民相談をお受けしておりますので、いつでもご相談ください。TEL 5744-1488 FAX 3730-2668

令和2年 決算特別委員会

決算特別委員会では、田島和雄議員が副委員長に就任し、令和元年度 一般/各特別会計決算の認定について、6日間に渡る活発な質疑が交わされ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

総括質疑



秋成 靖 議員

- ①財政について ②3歳女児死亡事例について ③コロナ禍における事務改善について
- ④水災害への備えについて ⑤手話言語に関する条例制定と障がい者理解の啓発について
- ⑥大田区交通政策基本計画について ⑦居住支援について ⑧卒業生の思い出づくりについて

水災害への備えについて

多摩川の氾濫や決壊に備え、家屋倒壊等氾濫想定区域とその周辺の高齢者施設入所者の命を守る取り組みを構築するべき。また、水害時緊急避難場所の運営に関して、女性や子供など災害弱者を守る配慮が求められるため、区職員の危機意識の向上と安全対策の改善を訴えました。

しめくり総括質疑



松本洋之 議員

- ①基金について ②オンライン申請について
- ③特定健診について ④慰労金について ⑤まちづくりについて

オンライン申請について

今の子育て世代はスマホで情報収集する人が多い中、三密回避とともに、区民の利便性向上に大変役立つことから、保育園の申請を早期にオンライン申請にするよう主張しました。



討論



小峰由枝 議員

新しい生活様式において事業を再構築し、区民に安心を広げる区政運営を!

令和元年度一般会計決算は、財政面からみれば実質収支額36億円の黒字となる等、現段階では健全であるとみて取れる。大型台風や新型コロナウイルスの対策を迅速に行い、区民生活を支援したことを評価する。今後、厳しい財政運営が見込まれる中、事業見直し・再構築に際しては、ビルド&スクラップ方式を用いて適正な来年度予算編成をと要望しました。

令和2年決算特別委員会での主な質疑

総務費

- 窓口サービスの向上について
- 戦略的な広報/情報発信について
- 特殊詐欺対策について
- 区内在住外国人の支援について
- 風水害時における都営住宅の空き住戸の活用について
- 感震ブレーカー支給取付事業について

福祉費

- コロナ禍におけるフレイル予防事業の進捗について
- 保育園の欠員補填費について

土木費

- 道路損傷等通報アプリ「おた みちパト」について
- デザインマンホール設置事業について
- 内川について

都市整備費

- 蒲田駅周辺のまちづくりについて
- 住宅確保支援の拡充について

環境清掃費

- 在宅避難における非常用トイレなどの必要性について

衛生費

- ヘリコバクターピロリ菌検査の拡充について
- がん検診/糖尿病重症化予防について
- 産後ドゥーラの導入について

教育費

- ハイパーQU(学級集団調査)などの拡充について
- 図書館を使った調べる学習コンクールについて